

京ことばを知ろう!

古くから主に京都の街中で用いられてきた関西方言の1つ、京ことば。府外出身の人でも時折耳にすることはあると思いますが、意味がよくわからないまま聞き流している人もいるのではないのでしょうか。これから取り上げる京ことば、皆さんはどれくらい知っていますか？
(高速)

京ことば基本編

京ことばは関西方言に属するので、大阪弁などと同様に標準語と比較して次のような特徴が見られます。

長音の脱落・添加

学校 → がっこ
先生 → せんせ
目 → めー

など

促音の添加

年寄り → とっしより
日曜 → にっちょー
カツオ → かつつお

など

撥音の添加

ごぼう → ごんぼ
坊さん → ぼんさん
夕べ → ゆんべ

など

用言からの派生名詞が豊富

いちびる → いちびり
あかん → あかんたれ
根性悪い → こんじよわる

など

この他にも、関西方言は「う」を唇を丸めて発音したり、京阪式アクセントと呼ばれる特徴的なアクセント方式が用いられるなど、標準語とはさまざまな点で相違が見られます。

さらに京ことば独特の特徴としては、言葉が間接的で婉曲性を追求する、ゆとりと余韻がある、「お～やす」という形の敬意表現が多い、職業語の特色が強い、などが挙げられます。

▶▶▶ 次ページで、より実践的に京ことばを学んでいきましょう!

はみだし
すてーじ

クリスマス・キャロルが聞こえる頃には……
⇒画面の向こうのあの美少女とワンチャン……

(総・2 箇名係)
(できるわけないですね(涙);編)

京ことば実践編

それでは実際に京ことばがどのように使われているのかを見ていきましょう。

🕒 おけいこ1 京都に下宿して3年になる大学生のたかこさんが、友達と一緒に祇園へ出かけることになりました。

たかこ : こんにちは。
お隣さん : おやおや、着物なんか着てどないしたん? はんなり
ええ色合いやし、似合うてはるな~。
たかこ : ありがとうございます。今日はこれから友達と祇園あ
たりを巡るつもりなんです。
お隣さん : ああ、そうかい。おはようお帰りやす。
たかこ : 行ってきます。



語句・表現

どないしたん? 「どうしたの?」の意。京都のみならず関西で広く使われている表現。
はんなり 「すかっと」などの意。色彩などが、陽気で上品に明るい様を言う。
~はる 友達口調よりは丁寧だが、標準語の敬語よりはくだけた文末表現。京阪神で広く使われる。
おはようお帰りやす 「行ってらっしゃい」の意。仕事などを早く終えて無事に帰ってきてほしいという思いが込められている。

🕒 おけいこ2 たかこさんたちは、祇園で趣のある茶店を見つけたので入ってみることにしました。



女将さん : おこしやす~。今日はどちらからいらしたんどすか?
たかこ : 近衛通の方から歩いてきました。
女将さん : それはそれは、はばかりさんどしたなあ。
2人 : いえいえ~。
(注文後、茶菓子が出てくる)
女将さん : どうぞ、よろしおあがりやす~。
2人 : いただきま~す。

語句・表現

おこしやす 「いらっしゃいませ」の意。「おいでやす」とも言う。
~どす 「~です」などの意。上方では「~だす」の方がよく使われる。
はばかりさん 「ご苦労さん」・「ありがとう」の意。
よろしおあがりやす 「お召上がりください」の意。まれに食後に「お粗末さまでした」の意で用いることもある。

参考文献: 真田 信治 他『日本語ライブラリー 方言学』/堀井 令以知『京都語を学ぶ人のために』

はみだし
すてーじ

はみだしに書くことじっくり考えても結局思いつかない
⇒はみだしの返しに書くことじっくり考えても結局思いつかない

(工・2 ジェリコーン)
(返しの文の約9割が投稿のコピペ;編)